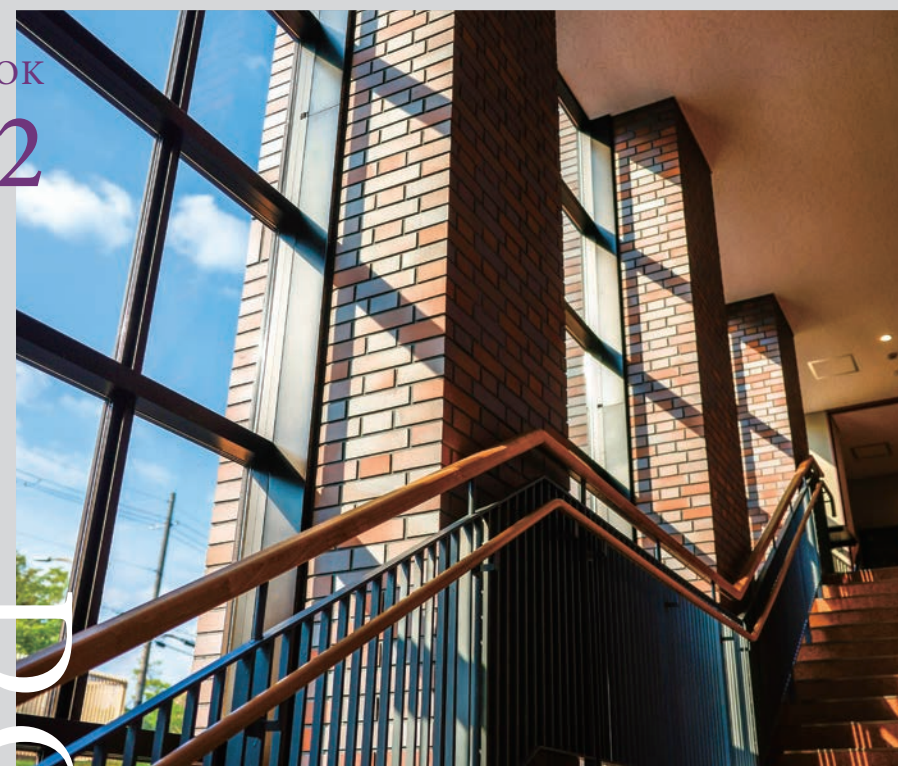




GUIDE BOOK

2022



DOSHISHA INTERNATIONAL



DOSHISHA INTERNATIONAL
JUNIOR / SENIOR HIGH SCHOOL

同志社国際中学校・高等学校

〒610-0321 京都府京田辺市多々羅都谷60-1 [tel] 0774-65-8911 (代表)
http://www.intnl.doshisha.ac.jp [fax] 0774-65-8990



同志社国際中学校・高等学校

DOSHISHA INTERNATIONAL JUNIOR / SENIOR HIGH SCHOOL

History and Profile



新島 襄 (1843~1890)

創立者新島襄と 同志社の軌跡

同志社の創立者である新島襄は当時鎖国していた日本にありながら、海外へと思いを寄せ、1864年、国禁を犯し渡米。留学中、キリスト教と教育について考えを深めた新島は帰国後の1875年に当時の京都府顧問であった山本覚馬、宣教師ディヴィスとともに同志社の原型である官許同志社英学校を京都の地に開校しました。そして同志社は新島の建学の精神を受け継いだ生徒、学生、教職員によって歴史の手を紡いできました。卒業生は、日本のみならず世界各地、様々な方面で活躍しています。

Traveling together
from the starting point of differences.

本校では、海外での生活経験を持つ帰国生徒と国内一般生徒がともに学んでいます。

異なる生育歴と学習歴をそれぞれが持ちながら、お互いに尊重し合うことで作られる学校です。

生徒一人ひとりが本校での学びを通して、新島襄が希求した「少々角ありも可、良心溢るる若者(少しぐらい変わっていて枠に取まらなくても、温かい心と良心が溢れた若者)」に育ち、未来に向かって果立っていくことを願っています。

沿革

1875年	同志社英学校開校
1920年	同志社大学開校
1980年	同志社国際高等学校開校
1988年	同志社国際中学校開校
1997年	コミュニケーション・センター完成
2015年	スーパーグローバルハイスクール(SGH)採択校となる
2020年	同志社国際中学校・高等学校40周年 文部科学省指定WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)事業拠点校となる



同志社の創立者新島襄の精神に基づく、
世界に目を向けた
「良心」ある人物の育成をめざす

新島襄のめざした同志社教育の原点は「良心」です。「一国の良心」ともいうべき人物を養成するための同志社の教育理念、それは「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」です。

キリスト教主義

新島襄が建学の精神の柱としたキリスト教に基づき、一人ひとりを大切に教育をおこなうことで、生徒それぞれが持つ世界観、価値観が豊かに形成されることをめざします。

自由主義

新島襄は、自立していること、自由であることを尊重しました。誰よりも「自由」の価値を重んじた新島の精神は、自発的に行動し、自分の力を発揮できる人物を育てる豊かな学びの土壌となっています。

国際主義

自ら世界で学んだ新島襄のように、異なる価値観を受け入れ、そこから何かを見いだすことのできる、真の国際人の育成をめざします。



DOSHISHA INTERNATIONAL
JUNIOR / SENIOR HIGH SCHOOL

Contents

03	Find Yourself, Love the Differences
07	数字で見る同志社国際
09	同志社国際はこんなところ
11	同志社国際での学び
13	同志社国際中学校の特徴
15	同志社国際高等学校の特徴
17	Club Activities / School Events
19	国際プログラム
21	卒業生の声
23	校内施設 / 学寮
25	学校説明会 / 校長メッセージ・アクセス

Find Yourself, Love the Differences

神と私、あなたと私、世界の中の私。
同志社を支える3つの教育理念が、私たちを育みます。

chapter 1

キリスト教主義

STUDENT VOICE

高校生 的場 奈都 さん

同志社国際では、キリスト教の考え方を一方的に示すのではなく、そこから考えていくことを大切にしていると思います。私たちは日々の礼拝や学びの中で、聖書の教えに触れ、これからの自分はどのようなか、どう考えるべきなのかを探ります。そして、それについて先生方や友人と話し合い、そこから自分の納得のできる答えを探します。この雰囲気と学びの在り方が、私たちの「良心」を育んでくれているのだと思っています。



TEACHER VOICE

社会科担当 星加 泰子 先生

「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。また隣人を自分のように愛しなさい」「喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい」毎朝の礼拝で聞く聖書の聖句の一部です。子どもを育てるのは、教師でも、国家でもなく、神様である、ということが根底にあるのがキリスト教主義の学校であると感じています。神様の前に対等な一人の人間として、教員も生徒も互いに認め合い、成長していく学校でありたいと思っています。

chapter 2

自由主義



STUDENT VOICE

高校生 児島 魁 さん (12~15才までベルギー)

自由主義とは、「自分にしかできないことを表現すること」ではないか。近年、技術が進歩することで機械には担うことのできないフィールドで結果を残す人材が求められるようになってきた。僕の考える自由とは、自分にはできて、他人にはできないことを追求すること。学校で平等に受けた教育を、どう自分自身に落とし込み、いかにその知識を発展させ、「自分」という唯一無二の存在を作り上げ、世界へ飛び出すか。それが自由主義教育の本質だと僕は考える。

TEACHER VOICE

保健体育科担当 林 昌一郎 先生

学生時代に所属していた同志社ラグビー部は、「型にとらわれず自由奔放」と称された。40数年前にして選手主体の民主的で自由な発想を大切にしているチームであり、そこで多くを学んだ。自由の中ではなく、自ら考える姿勢が、自主自立、他者に寛容であること、ひいては良心をもつことにつながっていくのではないだろうか。「自ら考え、自らを育てる」ことが同志社の学びであり、生徒も教員も、日々この場所で自由に学んでいる。

TEACHER VOICE

英語科担当 Thomas Sterling 先生

Liberalism allows people the freedom to explore themselves and their values, helping create a more diverse and passionate body of voices. Every part of the human body fulfills a special role, and all these individual parts combine to create a strong, healthy existence. At Doshisha International, I use this freedom to teach what I am passionate about, and this freedom allows me to do the best that I can to make our school and our society a healthier, happier place.



STUDENT VOICE

高校生 ナミカス ジュリアーナ さん (1~15才までアメリカ)

同志社国際には世界の様々な国からの帰国生徒が集まっています。校内はいろいろな言語でコミュニケーションをとっている生徒に満ちていて、どこの国でもない不思議な世界へ入り込んだかのような感じです。すべての国のことを自由に話すことは不可能でも、全校生徒をつなぐ日本語を通して多種多様な文化を感じられる同志社国際こそが世界に通用する国際人として育つことが出来る場所だと感じます。

STUDENT VOICE

高校生 加藤 潤 さん (1~4才までアメリカ、6~13才までオランダ)

国際主義とは、「世界中の多種多様な価値観を認め合い、理解すること」だと思います。同志社国際では様々なバックグラウンドを持つ生徒がいます。彼らと共に過ごし、多様な価値観に触れることで、今まで出会うことのできなかった大きな世界に出会うことができます。この学校では、これまで想像もできなかった考えに気づき、世界で起きている問題を多くの視点から考える機会にあふれていると思います。

chapter 3

国際主義



TEACHER VOICE

家庭科担当 吉田 恵都子 先生

相手を理解するために必要なことは「民族」や「国籍」ではなく、その人がどのような経験をし、どのような文化で生活してきたかということだと思います。そして、その経験は一人ひとり違い、物事一つの基準で計ることができません。そのような「世界の市民」が集まる空間が本校なのではないでしょうか。「世界の市民」を理解するために大切なことは、自分の価値観をいったん壊し、相手が大切に思っていることを、自分も同じように大切に思うように努めること。それが国際主義なのではないかと、生徒を見ていて考えるようになりました。





帰国生徒数 (2021年度)

712名

全校生徒の3分の2が海外経験をもつ「帰国生徒」です。帰国生徒は、様々な国や地域、そして現地校、日本人学校、インターナショナルスクールなど様々な種類の学校から帰国してきます。



講座展開数 (週当たり)

約1,400講座

習熟度別授業や多様な選択科目が設置され、生徒は自分に合ったクラスで、また、興味・関心に応じた選択科目を勉強することができます。



学べる外国語

6カ国語

英語の他にもドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語のクラスを設置しています。
(※高校からは初習も可能です。)



受験生の最終滞在国

約50カ国

アジア、オセアニア、南北アメリカ、ヨーロッパ、アフリカなど世界中の国・地域から受験生が集まります。入学試験は京都、シンガポール、ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドンで実施されています。
(※2022年度入試は、海外では実施しません。)



数字で見る 同志社国際

In Numbers



寮生徒数

約90名

高校生は資格を満たせば学寮で生活し、通学することが可能です。寮は学校に隣接しており、寮務センター教員や、寮監・寮母によるきめ細やかな指導がおこなわれます。

コミュニケーションセンター
蔵書数・洋書数

蔵書

約60,450冊

洋書

約9,900冊

蔵書は借りることもでき、センター内でDVDを見ることもできます。センターではリサーチやプレゼンテーションなどの授業も多くおこなわれています。



編入試験入学者数

約30名

中学1年生から高校2年生までを対象に編入試験を実施しています。編入試験は冬(12月・1月・2月)と夏(8月)におこなわれます。



受験可能言語

無限大

A選考の作文・小論文試験は「海外生活で修得した外国語[®]」で受験できます。
(※「海外生活で修得した外国語[®]」とは、在在国、または在籍学校で日常使用されている言語のことです。)



本校から海外留学した生徒数

約60名

国際プログラムは、初めて留学する生徒を対象としたプログラムから、TOEFL[®]100点以上の高い英語力を持った生徒対象のもの、英語圏以外のものもあります。生徒は自分で目標をたて、自分に合ったプログラムを選択できます。

海外から本校に訪問し、
交流した生徒数**約100**名

交換留学を実施している学校などから多くの生徒が来校し、一緒に授業を受けたり、アクティビティをおこなったりします。

TOEFL[®]受験者数 (2021年度)**938**名(78%)

1年に1回校内英語試験を実施し、実用英語技能検定(2級まで)とTOEFL[®]を受験します。約8割の生徒はTOEFL[®]を受験します。

海外経験のある
教職員の割合全教職員(専任) **43%**
外国語科(専任) **100%**

約半数の専任教職員が1年以上の海外在住経験を持ち、外国語科教員は全員、1年以上海外の教育機関で教育を受けています。



大学進学率

約100%

同志社大学・同志社女子大学をはじめ、海外大学、国内の国公立大学・私立大学にはほぼ全員の生徒が進学します。

同志社国際はこんなところ

同志社国際について学年・クラスを越えたグループでディスカッションしてもらいました。



同志社国際での基督教教育

メンバー

高校生 田村 綾夏さん / 中学生 中村 陽奈さん

同志社国際では、毎朝の礼拝や聖書の授業を通して基督教の考え方に触れることができます。聖書の授業では、聖書の教えだけではなく、創立者新島襄についても学びます。その学びの中で同志社の教育理念である「良心」への理解が深まります。基督教の考え方をどのように解釈し自身の生活に取り入れるかは生徒それぞれによって異なります。様々なバックグラウンドを持つ生徒一人ひとりに寄り添い、聖書の教えからなる「良心」を育むことができるのが同志社国際の基督教教育だと思います。



同志社国際の第二外国語クラス

メンバー

高校生 大須賀 未歩さん / 北岸 歩佳さん / 石丸 鈴さん

本校特有の第二外国語のSクラスは、和気あいあいとした雰囲気が特徴です。そのため編入生や高校から参加しても、分け隔てなくオープンにお互いを教え合うことができます。少人数のクラスが多く、ネイティブの先生との会話中心の授業は現地にいるような気分になります。授業を「受ける」のではなく、先生と生徒一人ひとりが「共に作る」という方が相応しいです。楽しみながら語学を学ぶことで、コミュニケーション力を高め、日々成長していくことができます。

同志社国際での「帰国生」

メンバー

高校生 立田 理人さん / 小林 歩海さん /
鳥原 凜々果さん / 中嶋 理博さん
中学生 畑尾 郁仁さん

今まで育ってきた環境や、生活してきた環境が「一人ひとり違う」ということは同志社国際では当たり前です。だから、それぞれがお互いに刺激しあいながら成長できる環境があると思います。ここでは日本の他の学校とは違い、「帰国生」という存在は特別ではありません。それぞれが、この学校でどのように「特別な」存在になるのか…。この学校に入学してからは、それを意識しながら生活することが大切だと思うようになりました。



同志社国際の英語 (Oクラス)

メンバー

高校生 長尾 稜さん / 小野 夏蓮さん
中学生 井上 創太さん / 麻生 広乃さん
疋田 真祐子さん / 廣田 拓海さん

In English O Class, together with approachable teachers, you can maintain your English skills while advancing them even further. We learn using the same textbooks that native speakers use and explore many complex topics relating to English. In addition, active learning is a major part of the curriculum, and students are encouraged to join class discussions and voice their opinions freely. It is an all-English environment, which you can only find here in O Class.



同志社国際の良いところ

メンバー

高校生 田伏 彩花さん / 永井 伶弥さん /
藤井 千春さん / 庄林 夏希さん

同志社国際には、体育祭、文化祭などの一般的な行事に加え、浴衣を着て過ごす日本文化の日や仮装して授業を受けるハロウィンなど、珍しいイベントが多くあります。また男女の仲も良く、クラスも明るい雰囲気となっています。世界各国からの帰国生も大勢いるため、違うバックグラウンドを持つ生徒同士が多種多様な文化を認め合いつつ、一人ひとりの個性を大切に、とても楽しい学校生活を送ることができます。



一般生から見た同志社国際

メンバー

高校生 高橋 那奈さん / 中村 愛海さん / 西村 愛結さん /
千田 倫士さん / 折坂 月帆さん
中学生 高木 大豪さん / 吉田 一郎さん

この学校の魅力は、やはり帰国生が多いことだと思います。それは私たち一般生にとってはとても貴重な存在です。日常的に、英語をはじめとした様々な言語が飛び交っているため毎日がとても刺激的です。また、帰国生の子達は経験してきたことや育った環境が皆大きく違います。彼らのこれまでの経験を聞くと「自分と同じ歳でも、見てきた世界がここまで違うのか」と圧倒させられ、私たちの視野がとても広がります。

受けてきた教育内容に合わせた 習熟度別クラスの編成でこれからの成長をフォロー

国語、数学、理科、社会、聖書（宗教）

生徒の状況に応じて教材等柔軟に対応できるように大人数のクラス（Lクラス=large）と、少人数のクラス（Mクラス=mini）に分けて授業を行っています。（高校は情報・保健も習熟度別クラスを実施）

Lクラス

通常の授業形式。1クラスあたり30人程度で授業を行うクラス

Mクラス

未習熟分野があったり、日本語が不安な生徒たちによりきめの細かい指導を行うクラス

英語

生徒の幅広い英語力に対応するため、習熟度を中学校で6段階、高校で4段階に分けてクラス編成をしています。中学校・高校とも、クラスは固定ではなく移動する生徒もいます。

O (Outlook)

英語の学習経験が十分にある生徒を対象としたクラスです。この中でも、習熟度によってOa・Obに分けられています。

E (Experience)

英語の学習経験が少しある生徒を対象としたクラスです。この中でも、習熟度によってEa・Ebに分けられています。

I (Interest)

英語の学習経験がない、または少ない生徒を対象としたクラスです。この中でも、習熟度によってIa・Ibに分けられています。

O (Outlook)

英語を主要言語とする国、もしくは英語が主要言語であるインターナショナルスクールで長期間学習してきた生徒を対象としています。四技能において高い英語運用が可能であり、英語で論理的に自分の考えを述べたり書いたりすることが出来る生徒を対象とし、授業はすべて英語を用いて行われます。

Eb (Experience b)

海外で生活経験があり、英語に触れる機会があった生徒を対象としたクラスです。また海外での日本人学校や日本の学校に通っていた生徒の中でも、留学プログラム等により英語に触れる機会が多かった生徒も対象としています。英語の四技能において十分な力を有しており、授業は英語で行われます。

Ea (Experience a)

海外で生活経験があるが、英語に触れる機会が少なかった生徒を対象としたクラスです。また海外での日本人学校や日本の学校に通っていた生徒の中でも、留学プログラム等により英語に触れる機会が多かった生徒も対象としています。英語の四技能において基礎的な力を有している生徒が対象で、授業は英語で行われますが、必要に応じてきめ細かい指導を行います。

I (Interest)

一般生徒・帰国生徒に関わらず、英語に触れる機会が限られていた生徒を主な対象としたクラスです。英語の四技能において基礎的な力を持っていて、更にきめ細かい指導とサポートを必要とした生徒を対象としています。授業は生徒の理解の程度に応じて英語で行うことを基本としています。

ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国朝鮮語

各言語においてそれぞれ経験者クラスと初めて学ぶクラスを設置しています。経験者クラスはその言語を学習または使用していた経験のある生徒向けです。定期的に外国語に触れる時間があることは帰国生徒にとって大きな意味があります。

中学校

経験者クラスは1年生から、初めて学ぶクラスは2年生からスタートします。選択するには一定の英語力が必要ですが、様々な言語を話せる仲間たちとより高いモチベーションで外国語学習に取り組むことができます。

高等学校

初めて学ぶクラスは1年生で入門から始め、最大3年間学習することができます。英語以外にさらにもう一つ外国語を学ぶことにより、言語だけではなく多様な外国文化を学ぶきっかけにもなるでしょう。

日本語

海外生活が長いいため特に日本語の指導を必要とする生徒に対しては、特別なカリキュラムでサポートします。



選択科目 Electives

関心のある分野をより深く学ぶ多様な選択科目の設置

1・2年生ではそれぞれ2単位の語学科目を選択し、2年生時には2単位、3年生時には7単位の選択科目を設置しています。生徒一人ひとりが自分の興味・関心に応じた授業を選択することで自身の思い描く将来への学びを実現します。

第1学年		第2学年			
語学選択科目		語学選択科目		選択科目	
English Elective 11	韓国・朝鮮語 I	日本語 II			
English Elective 12	日本語 I	English Elective 21	スペイン語 II	聖書講読 I	選択家庭
English Elective 13		English Elective 22	中国語 II	宗教学 I	音楽 II
English Elective 14		English Elective 23	韓国・朝鮮語 II	文学	美術 II
ドイツ語 I		English Elective 24		現代の政治・経済	書道 II
フランス語 I		English Elective 25		数学演習 I	Sustainable Society Research
スペイン語 I				化学	知の研究
中国語 I		ドイツ語 II			
		フランス語 II		スポーツパフォーマンス I	

第3学年					
選択科目(3単位)		選択科目(2単位)			
聖書講読 II	English Elective 32	Sustainable Society Design	スポーツ学	English Elective 34	コンピュータリテラシー
宗教学 II	生物	日本語 III	スポーツパフォーマンス II	English Elective 35	心理学
国語持論	物理	国語表現	芸術美術	English Elective 36	哲学
日本史研究	地学基礎	現代社会講座	芸術音楽	ドイツ語 III	環境学
世界史研究	数学演習 II	地域研究京田辺	芸術書道	フランス語 III	ライブリー&インフォメーション
国際政治研究		数学研究	被服実習	スペイン語 III	
経済研究		数学B	食と文化	中国語 III	
English Elective 31		化学	English Elective 33	韓国・朝鮮語 III	

問題解決型学習を実践します

本校は2020年、文部科学省よりWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムの拠点校に指定されました。このプロジェクトでは「持続可能な都市の構築（SDGs #11 住み続けられる街）」を題材とし、国際共同研究を通じたグローバルな人材育成を目標としています。具体的には国内外の連携校、企業、地方自治体や国際機関と協業し、グローバルな社会課題の解決をめざします。高校1年生では全員必修科目のSSSを実施し、外来講師の講演や、様々な国、地域から集まった生徒たち自身によるグループディスカッションなどを通じて、基礎的な知識の習得と問題解決型学習の基本を学びます。高校2・3年生では自由選択科目のSSR、SSDをそれぞれ開講。連携校の生徒と共に実施するフィールドワークや国際会議の企画・運営を通じて、複雑な社会事象に対しても、新たな価値を創造し主体的に行動できる力を養います。



高大連携による教育

大学学部説明会

高校3年生対象に同志社大学、同志社女子大学による進路に向けた説明会を積極的におこなっています。高校1・2年生が参加できる説明会もおこなっています。

理工学部体験学習会

理工学部の実験設備を利用した実験を体験するなど、実際の大学の施設を訪問して学習します。様々なテーマが準備されており、最新の研究に触れることができます。学部卒業生による講演もあります。また、中高生の女子対象にガールズサイエンスキャンプやガールズサイエンスカフェなども開催されています。

大学公開授業

同志社大学の学部による授業公開に参加することができます。授業だけでなく企業の担当者による特殊講義への参加や国際商事模擬仲裁（VIS MOOT）日本大会の観戦も可能であり、高校在学中から進路に向けて視野を広げることができます。

基本商学簿記講座

商学部教員による、高校3年生向けの日商簿記検定試験3級対策講座です。簿記を学ぶことで、企業の経理業務に必要な会計知識だけでなく、財務諸表を読む力なども身につきます。

大学入学準備講座

大学の様々な学部の教員により、それぞれの専門分野で扱う学問の内容から選んだ高校生にも身近なテーマについて、高校生対象の授業がおこなわれます。実際の大学の講義と同じ形式で、大学での学びを体験することができます。

大学教員による授業

高校3年生に設置している「哲学」「心理学」「環境学」は大学の教員が担当しています。どの科目も例年多くの生徒が希望し、受講生徒は知的好奇心に応じた深い学びを進めることができます。

スケジュール（高校3年生）

1学期			2学期		3学期	
4月	5～6月	6月	11月		1月	2～3月
第1回進路説明会	大学学部説明会	第2回進路説明会	第4回進路説明会／最終進路希望調査		推薦入学試験	大学入学前教育
7月						
第3回進路説明会／保護者面談						

同志社国際 中学校

Junior High School

同志社精神に基づき、学びの基礎を固める。

帰国生徒と国内一般生徒の共習を実施するなかで、生徒一人ひとりに合わせた習熟度別授業を採用。各自の能力を十分に発揮できる環境で、学習指導要領にしたがってしっかりと学びます。

PICK UP

● Mクラス



先生方は丁寧にゆっくりと授業をすすめてくれます。自分の日本語に自信がなくても少人数クラスなので質問もたくさんできます。授業時間以外でも先生方はすべてを理解するまで、説明したり、質問に答えたりしてくれます。周りの生徒も同じような海外在住経験を持ち、一緒に励まし合いながら頑張って勉強ができます。Mクラスの授業を通して、Lクラスに移っても授業についていける自信がきます。

高校生 入道 優さん
中学生 重村 乃絵瑠さん / 爰保 征士朗さん / 北村 季亜奈 ケルトナーさん

● 第二外国語



語学選択のGクラスでは、専門的な知識を持った先生方やネイティブの先生方から、文法の基礎知識だけでなく、その言語文化を映像や簡単なアクティビティなどを通して体系的に学んでいきます。受講者の学習レベルに応じて初心者にもやさしい設定となっていて、難解な文法も噛み砕いて理解ができます。また、定期的な小テストで日々の成長を確かめられます。そんな同志社国際のインタラクティブな語学講座は他では体験できない貴重な経験ができる場だと思います。

高校生 平 健太郎さん / 平田 陽人さん
中学生 深谷 哲平さん / 辻 陵太さん

ONE DAY 1日のスケジュール

※昼食にはカフェ・売店も利用できます。 ※完全下校18:00



8:20

登校



8:25~8:45

礼拝



9:00~

授業(午前)



12:50~

昼休み



13:40~

授業(午後)



15:30~

HR・清掃

STUDENT VOICE

毎日の授業や会話を通じて様々な視点を持てるようになりました

社会科で扱う問題などに関して、この学校では授業後や何気ない会話の中で、世界中の様々な国から帰国した友人の体験談を聞くことで、考えなくてはいけない身近な問題ととらえるようになりました。ニュースを見聞きするときなども、様々な国や人の立場を考える姿勢が身に付いたと思います。

山田 陽生さん 中学生

STUDENT VOICE

個性を尊重した校風や授業で視野が広がりました

英語の授業では、自分に合ったレベルで学ぶことができるので、英語を聞き取る力はもちろん、英語で自分を表現するスキルもたいへん向上しました。また、様々な国からの帰国生徒と共に学校生活を送ることで、それぞれの文化を知り、より広い視野で物事を見ることができるようになったと感じています。多様性を認め、生徒の自主性を尊重するこの学校だからできる友人との絆があります。

佐藤 小香さん 中学生

同志社国際 高等学校

Senior High School

進みたい進路へ向けて自分だけの学びを作る。

多様なバックグラウンドをもつ一人ひとりの生徒の学習歴に合わせて習熟度別授業をおこないます。希望の進路に向けた多様な選択科目の設置や高大連携を実施。大学受験にとらわれない自分だけの学びを実現します。

STUDENT VOICE

自身の興味を軸に学び、自分の将来をしっかりと考えられました

一日の始めにある礼拝の場では、そこで話される先生方のことばから、知識はもとより多くの知恵を学びました。3年生では受験科目にとらわれず、選択科目を決める際はとにかく好きな分野、気になった分野を選んで学びました。純粋な興味からの学びを大切にしつつ、自分自身の進路を模索、探求する時間を多く持つことができました。

緒方 佑玖 さん 高校生 (3~11才までフランス)

STUDENT VOICE

帰国生徒とともに学ぶことで物事の捉え方に広がりを感じました

幅広い選択科目の中から学びたい分野を自ら選択することで興味を掘り下げ、将来の目標に必要な能力を伸ばすことができました。レポートやプレゼンテーション等では主体的に取り組み、身につけた知識を他者に発信・共有する力を養い、また多様な地域からの帰国生徒の経験や意見を聞くことで、切磋琢磨しあうことができました。それは、個人的な学習や講義型授業だけでは得られなかったであろう新たな発見の連続でした。加えて、国際機関の方のお話を伺う機会にも恵まれ、世界の事象を如実に感じ、物事を本質的に考えることができました。

内田 帆南 さん 高校生

ONE DAY 1日のスケジュール

※昼食にはカフェ・売店も利用できます。 ※完全下校 18:00



進路実績

国内の大学【指定校・指定校に準じる大学】	同志社大学					同志社女子大学						
	学部	2021	2020	2019	2018	2017	学部	2021	2020	2019	2018	2017
国際基督教大学、上智大学、立教大学、青山学院大学、中央大学 ほか	神学部	0	1	1	1	0	表象文化学部	0	0	0	0	2
	文学部	23	33	25	29	26	学芸学部	6	2	1	2	2
	社会学部	22	22	22	24	23	現代社会学部	5	1	2	1	1
	法学部	44	35	48	47	52	生活科学部	1	1	1	0	2
	経済学部	26	22	26	26	24	薬学部	1	1	3	2	4
	商学部	30	30	30	30	30	看護学部	3	1	2	0	3
	政策学部	21	21	21	22	23	合計	16	6	9	5	14
	文化情報学部	6	8	5	7	6						
	理工学部	20	25	20	14	19						
	生命医科学部	6	8	6	10	2						
	スポーツ健康科学部	6	7	8	8	5						
	心理学部	7	10	10	9	5						
	グローバルコミュニケーション学部	6	6	5	5	4						
	グローバル地域文化学部	10	10	10	10	12						
	合計	227	238	237	242	231						

海外の大学

【アメリカ】 Binghamton University Boston University California State University, Fullerton Clark University Denison University DePauw University Loyola Marymount University New York University New York University Abu Dhabi Northeastern University Pennsylvania State University Reed College	Rutgers University San Diego State University State University of New York Smith College Syracuse University University of Hartford University of Delaware University of Connecticut University of Washington New York University	【オーストラリア】 Monush University University of Queensland 【カナダ】 University of British Columbia 【イギリス】 University of St Andrews University of Bristol	【オランダ】 University of Twente University College Maastricht 【タイ】 マヒドン大学 (Mahidol University) 【ロシア】 チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院 (Moscow Tchaikovsky Conservatory) 【中国】 清華大学 (Tsinghua University)
---	--	---	---

SPORTS ACTIVITIES



運動部

アメリカンフットボール部(チアリーダー併設) 硬式野球部
 バスケットボール部 / ゴルフ部 / 剣道部 (中学時は経験者のみ) / ラグビー部 / サッカー部 / 卓球部
 テニス部 / 陸上競技部 / 女子バレーボール部

文化部

美術部 / 吹奏楽部 / 放送部 / 文芸部 / クッキング部
 ダンス部 / 演劇部 / ESS部 / キリエコーラス部 / MCI部 / MUN(模擬国連)部 / 写真部
 サイエンス部 / 書道部 / ボランティアサービス部



中学生 井澤 円来 さん / 吉川 夏生 さん / 北東 愛和 さん 高校生 北川 千裕 さん / 川井 みちる さん

STUDENT VOICE

同志社国際の部活動は中高生が互いに助け合い、幹事を始めとする部員全員が自主性を持って行動できるような環境作りを大切にしています。また多様なバックグラウンドを持つ生徒が同じ目的を持って集い、学校生活の大きな一部を共にするという特別な経験を通して、生徒たちは常識の違いなどから時にぶつかり合いながらも受け入れ合うことの大切さを学び、大きく成長する事ができると感じます。

APRIL 4 入学式 入寮宣誓式 編入生補講 新入生宿泊研修 校祖墓参	MAY 5 新入生宿泊研修 校祖墓参	JUNE 6 春季宗教教育強調週間 遠足 球技大会	JULY 7 修養会 リトリートキャンプ	AUGUST 8 夏編入生補講 編入学式 編入生入寮宣誓式	SEPTEMBER 9 体育祭 文化祭
OCTOBER 10 人権週間 読書週間	NOVEMBER 11 待降節礼拝 秋季宗教教育強調週間 中学1年生体験学習 中学3年生体験学習 同志社創立記念日	DECEMBER 12 クリスマス礼拝 アドベント礼拝	JANUARY 1 合唱フェスティバル	FEBRUARY 2	MARCH 3 卒業式 中学2年生長崎研修旅行 高校2年生沖縄研修旅行



中学生 堀 真彩 さん / 藪田 京太郎 さん / 佐藤 小香 さん / 上野 杏奈 さん

STUDENT VOICE

生徒会役員で協力して、学校生活がより楽しく充実したものになるように、文化祭などのイベントの企画をしました。私たちが話し合いを重ねて準備したイベントなどが上手いき、生徒の笑顔を見ることができた時にとてもやりがいを感じました。この生徒会活動を通して、責任を持つこと、協力することの大切さを学び、自分自身の成長へとつながりました。

SCHOOL EVENTS

国際プログラム

International Programs & Studies

多彩な留学プログラム

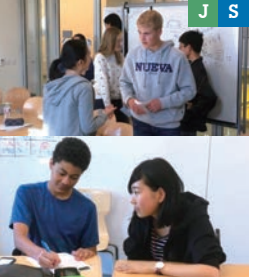
J 中学校から参加可能 **S** 高等学校から参加可能

**Phillips Academy
Andover Summer Session**



アメリカ東海岸マサチューセッツ州のボストン郊外にあるPhillips Academy Andoverは、卒業生の数多くをIVYリーグなどの大学に送り出している、新島襄も学んだ名門私立高校です。このSessionは、世界各国から集まった参加者が寮生活をしながら、授業やアクティビティに参加します。SAT Prep Courseなども受講可能です。

**The Nueva Middle School 交換プログラム
The Nueva Upper School 交換プログラム**



アメリカ、カリフォルニアにある私立中学との交換プログラムです。この交換プログラムは、同志社の他の学校と共におこなっているもので、滞在中はホームステイをしながら、授業に参加し、様々なアクティビティに参加します。The Nueva Upper Schoolではシリコンバレーの企業訪問もおこないます。

**Smith College
Science and Engineering Program**



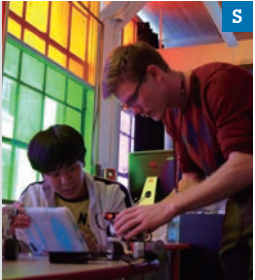
マサチューセッツ州ノーサンプトンにあるSmith College敷地内の寮で生活しながら授業に参加します。Smith Collegeの設備（実験室や生物室など）を利用してResearchをおこなう他、理系、文系問わず様々な科目の授業がSmith Collegeの先生により提供され、プールなども利用できます。

**Harvard University
Summer School (Secondary School Program)**



このSecondary School Programは高校生を対象としたプログラムですが、授業はハーバード大学の先生が担当し、生徒は200以上あるコースの中から2つを選択して受講します。大学敷地内にある寮で生活をしながら授業に出席し、大学の施設も利用可能です。単位認定試験で合格すると、大学の単位を取得できます。

**Boston
Summer Program**



ボストンでホームステイをしながら語学学校で学んだり、ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学の学生と交流しながら勉強して、英語表現力を高めるプログラムです。日常会話にとどまらず、自分の意見を掘り下げて考え、的確に表現し、相手にわかりやすく伝える英語力をつけることが目標です。

**Summer Challenge Program
at Boston University**



ボストン大学のSummer Challengeに参加します。International PoliticsやBusiness、Psychologyなど20あるセミナーの中から2つを選び、世界各国から集まった高校生と一緒に学びます。講義やディスカッション、グループワークのほかにプロジェクト課題や校外学習にも取り組みます。

一人ひとりが選ぶ、世界での学び

帰国生徒と国内一般生徒がともに学ぶ同志社国際では、生徒一人ひとりが異なる生育歴や学習歴を持っています。本校では、それぞれの生徒が自分に合うプログラムを選択できるように、多様なプログラムを設置しています。生徒たちは留学の目的を明確にし、どの時期に、どのプログラムに参加するのが最適なのかよく考えて選択します。短期プログラムへの参加の他、高校2年生時のFirst Semester留学や、海外長期留学制度を使って1年間の長期留学をすることも可能です。

**Silicon Valley Innovation
Summer Camp**



College of San Mateoの協力による、本校独自のプログラムです。国際社会で活躍するために必要なInnovation StudyやDesign Thinkingを学び、モノづくりの基本を、ITの最先端に行くSilicon Valleyで活躍する企業人のレクチャーなどを通じて学びます。ホームステイのプログラムです。

**ドイツ
交換プログラム**



ドイツのロイトリンゲンにあるギムナジウムとの交流プログラムです。このプログラムでは、ギムナジウムを1週間訪問し、ホームステイを経験した後、ハイデルベルグやマインツなどの近郊を見学します。

Bay Area Pathways Academy



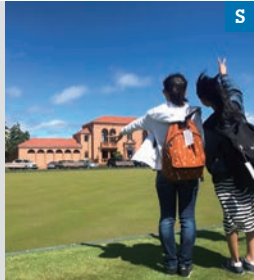
アメリカ西海岸カリフォルニア州のサンフランシスコ郊外にあるCollege of San Mateoで行われるサマーキャンプに参加するプログラムです。ホームステイをしながら、スポーツ、アートなど幅広い選択肢から自分の興味に応じたコースを作ることができます。

**École Jeannine Manuel
交換プログラム**



パリにあるこの学校はフランスの現地校とインターナショナル・スクールが併設された学校であり、フランスの帰国生徒受け入れ校でもあります。そのため生徒はフランス語、英語を使って交流することができ、ホームステイをしながらそれぞれの授業に参加します。午後や週末には、ルーヴル美術館やヴェルサイユ宮殿なども見学します。

**Spring Program
in New Zealand**



ニュージーランドを訪問する本校特別プログラムです。生徒はホームステイをしながら、現地の学校に通います。午前中は語学研修をおこない、午後は現地校に通う生徒がベアとなって、生徒たちと一緒に授業に参加してくれます。ニュージーランド独自の文化や自然に触れる体験プログラムにも参加します。

**First Semester
留学制度**

本校の高等学校2年生1学期の期間、海外の外国学校（現地校、インターナショナルスクールなど）に留学できる制度です。

海外長期留学制度

本校を休学することなく、1年間海外の外国学校（現地校、インターナショナルスクールなど）に留学できる制度です。帰国後は学年を落とすことなく進級できます。

STUDENT REPORTS

Bay Area Pathways Academy



谷口 賢 さん 中学生

言語の壁は厚いけれども、異なる文化をもつ人々と交流することはとても楽しいと学びました。現地の人たちは当然流暢な英語を話すので、帰国後は、留学前には全く聞き取れなかった帰国生徒の話す英語も少し意味がわかるようになりました。言語も文化も違う人たちとたくさん話したこの経験はいつまでも心に残り、社会に出てから何にでも対応できるようになって結びつくと思います。

Phillips Academy Andover Summer Session



村田 彩子 さん 高校生

世界中から生徒が集まって受講するこのプログラムは、広いキャンパスでの生活がいつもキラキラ輝いていて、チャンスは日常の中に散りばめられているということを実感しました。参加している生徒の英語力や意欲が非常に高く、授業中はもちろん日常の会話においても様々な国での生活、考え方について議論することで、深く理解し合い、帰国後も連絡を取り合う友人ができました。

Harvard University Summer School



川邊 永麗奈 さん 高校生
(5~12才までマレーシア)

ハーバード大学には一流の教授や多様なバックグラウンドをもつモチベーションの高い生徒が集まります。自熟した講義のなか、問題に対する様々な見方、分析力、発言力を養うことは私にとって高度な挑戦でしたが、プログラムを終えて、自身の成長を感じることができ、大きな自信につながりました。また、専攻科目に対する知識を深めることで、将来の夢である社会学者に一步近づくことができました。

First Semester 留学制度 (オーストラリア)



中尾 雪菜 さん 高校生

同志社国際に入学し、それまで得意だった英語のクラスで、英語圏から帰国した友人の英語力に驚かされました。そのような友人のように、堂々と英語を話したいと思い留学を決意しました。留学先では、日本人がほとんどいない中で、楽しく英語を使う環境がありました。その結果、自分の英語力に自信を持てるようになりました。この経験を進学や将来へのモチベーションにして、様々なことにチャレンジしていきたいと思います。

海外長期留学制度 (ニュージーランド)



遠藤 恒樹 さん 高校生

現地での1年間はとても濃密な時間でした。当初は周囲とのコミュニケーションに苦しみましたが、最後には多くの友人が生まれました。現地でも続けたフェンシングでは、スポーツで言葉や文化の違う人とも分かり合えることを実感しました。留学に行くだけでは英語は上達しません。留学先の環境でどれだけ努力し、自分の殻を破れるかが鍵になります。私はこの留学を通して何事も努力すれば達成できるという自信を得ました。

海外の大学進学も

手厚くサポート

国際教育センターによる支援

全米のトップ大学や他国の有名大学への進学実績が毎年あります。カウンセリングから、準備手順の説明、リクレーターによる説明会実施、出願サポートまで総合的なサポートをおこないます。また、外来講師によるセミナーや、TOEFL® iBT 攻略ゼミの実施、アメリカの大学進学に必要なSATやACT受験のスケジュールリング・サポートなどもおこなっています。

卒業生の声

Messages from our Graduates

同志社国際での経験が創る、
世界に広がる活躍の場所。



GRADUATE VOICE

東京大学大学院
総合文化研究科、教授

広瀬 友紀 さん (1988年卒業)

入学して肌で感じたのは「個の尊重」「自主自律」の空気です。クラスメイトの服装や髪型がどれだけ奇抜でも「それがどうした」然の先生方なのに、私が上靴の踵を踏んでるとしっかり注意されました。また「こだわりと情熱」。先生方は大学受験指導から自由なぶん、自分が心から伝えたいと考える知識と思いを熱く語ってくれました。その熱量に毎日触れていたことは今の自分の教員としての土台を作ってくれたのだと思います。そして今、年月を経て実感するのは、弱者に目を向け強者におもねらない、そんな国際高校での教育精神が自分の価値観にいかにか影響していたかということです。心から誇りに思っています。

GRADUATE VOICE

トヨタ自動車株式会社
IT部門

玉谷 威裕 さん (2001年卒業)

在学中、例えば部活動ではバックグラウンドの違いから異なる考え方をもつ同士、衝突もありました。ミーティングを重ね、目標を共有してまとめることができましたが、何かやりとげようと思うと話し合いを尽くさなければならないことを学びました。今は世界中のグループ会社で使うITシステムの開発に従事しており、4年間アメリカ赴任も経験しました。多国籍チームで仕事をするため、何を優先すべきか等一つの答えを出すことが難しい場面もありますが、そのようなときは良いものをつくろうという原点に立ち返り、諦めずコミュニケーションを取り、皆が納得いくものをつくっていきます。ここで学んだ既成の価値観にとらわれず、難しい場面でも明るく前向きに物事に取り組む姿勢は現在にも生かされていると実感しています。

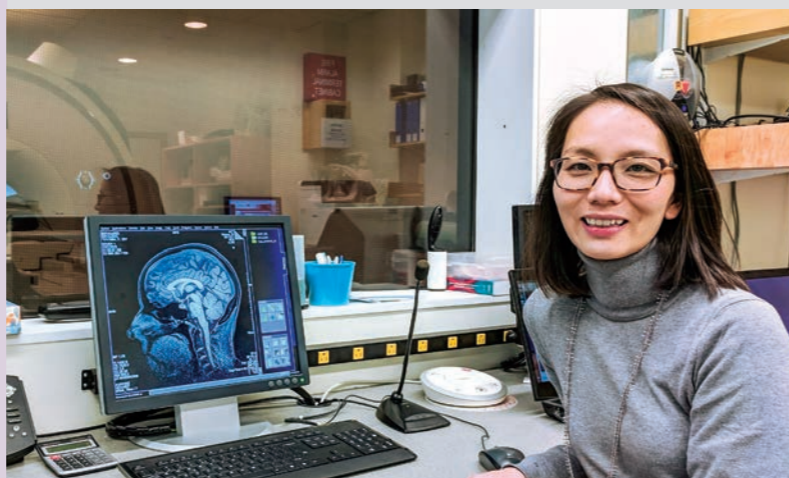


GRADUATE VOICE

Massachusetts Institute of Technology (MIT)
Brain and Cognitive Science Department, Research Scientist
マサチューセッツ工科大学
脳・認知科学学部、主幹研究員

岡野 加奈 さん (2001年卒業)

25年経った今でも鮮明に記憶に残っている授業があります。英語の授業でナゾナゾを出されたのです。次々とクラスメートがナゾナゾを解いていくなか、私は最後まで答えに辿り着けませんでした。その授業をはじめ、同志社国際に在籍していた6年間で学んだのは既存の考えにとらわれず、創造力を駆使し新しい解決策を探す力です。中高で得た頭の柔軟性は現在認知脳科学の研究をするにあたって日々活用する能力です。



GRADUATE VOICE

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
有人宇宙技術部門
宇宙飛行士・運用管制ユニット

関川 知里 さん (2005年卒業)

中学、高校でそれぞれ短期留学の機会をもらい、海外の人と交流する楽しさや仲良くなることの喜びを経験しました。「違う国の人も自分と同じように日常を生きている」と気づき、世界を見る目が変わりました。現在は「国際宇宙ステーション」に関する仕事をしています。国外の人と協力する場面が日々ありますが、仕事という交流を楽しみたいと思えるのは、国際での経験が生きているからだと感じます。在校中は「自由の裏にある責任」という言葉をよく耳にしました。社会で生きていくためにも本当に大事なことです。その理念の下、生徒の自主性をいつも尊重してくれた教育方針に今も感謝しています。

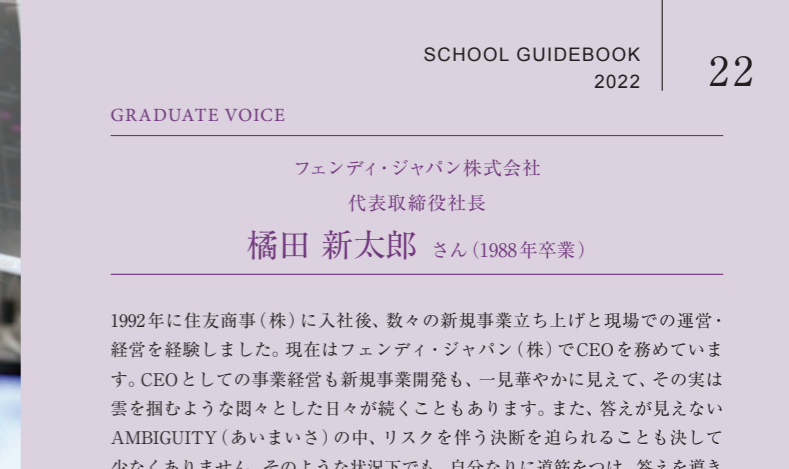


GRADUATE VOICE

The Office of the United Nations
High Commissioner for Refugees (UNHCR)
Refugee Status Determination (RSD) Officer
国連難民高等弁務官、難民認定担当

寺岡 沙弥 さん (1993年卒業)

9年前、NYでの弁護士業務の後、一念発起して、イラク、タイなどで国連の難民保護の仕事に就きました。このような世界に貢献したいという気持ちが確立したのは、中学時代かな、と思います。自分らしくいられた学生生活で得た自信が、自分の道を進む勇気の元となったのだと思います。スキー合宿で故郷に連れて行ってくれた、素晴らしい担任の野原先生との出会いもありました。そして、何より20数年経った今も続く友情は、同志社国際ならではの特別なものだと感じています。



GRADUATE VOICE

フェンディ・ジャパン株式会社
代表取締役社長

橘田 新太郎 さん (1988年卒業)

1992年に住友商事(株)に入社後、数々の新規事業立ち上げと現場での運営・経営を経験しました。現在はフェンディ・ジャパン(株)でCEOを務めています。CEOとしての事業経営も新規事業開発も、一見華やかに見えて、その実は雲を掴むような悶々とした日々が続くこともあります。また、答えが見えない AMBIGUITY (あいまいさ) の中、リスクを伴う決断を迫られることも決して少なくありません。そのような状況下でも、自分なりに道筋をつけ、答えを導き出すことができているのは、本校での「答えは必ずしも一つじゃない」とする自由闊達な校風の中、個性を認め合い、多様性を醸成し、複雑かつ不確実な中でも道を切り拓くことができる人物を育む教育での学びが非常に大きかったと痛感しています。また、本校で出会った親友たちと今もお親交が深いのは、共に過ごした環境と時間がそれだけ特別なものであったからに違いありません。



GRADUATE VOICE

文部科学省
初等中等教育局 教育課程課 教育課程企画室

河野 大和 さん (2014年卒業)

同志社国際には世界数十カ国を飛び回っていた人から一度も日本を出たことのない人まで、多様な背景と価値観を持つ生徒が集まっています。この多様性を否定せず、個人々の意思決定を尊重する同志社国際の校風が大好きでした。校則もほとんどなく、やりたいことを自由にできる環境は、何をしても良い「freedom」ではなく、責任に裏付けられた「liberty」なのだ、ある先生からお聞きしたことが今も印象に残っています。こうした教育を受けるうちに、多様化が進むこれからの時代、一人ひとりが尊重され楽しく学べる環境を日本全国の学校で実現する必要があると考え、文部科学省を志すようになりました。現在は、同志社国際時代に抱いた思いを胸に、より良い教育の実現に向けて日々仕事をしております。



校内施設

Facilities

CAMPUS MAP

Information

バーチャルキャンパスツアーを体験いただけます。

A 新島記念講堂	H コミュニケーション・プラザ	▼コミュニケーション・センター
B 学寮	I 正門	
C テニスコート	J 中学教室棟(有隣館)	
D 高校教室棟	K フリースペース	
E 体育棟	L 部室棟	
F コミュニケーション・センター	M 体育館(望雲館)	
G 体育館(志遠館)	N グラウンド(人工芝)	

Facilities

<p>新島記念講堂</p>	<p>コミュニケーション・ホール</p>	<p>コミュニケーション・カフェ</p>
<p>コミュニケーション・プラザ</p>	<p>グラウンド(人工芝)</p>	<p>クリエイティブ・ゾーン (コミュニケーション・センター)</p>

学寮

Dormitory

帰国生徒受け入れ専門校ならではの
伝統ある教育寮

世界の様々な国や地域から集まった仲間との集団生活の中で、正しい生活習慣を養いながら、協調性や思いやりの心を学ぶことができる同志社国際の教育寮。仲間との絆を深めながら、自己を高められるこの場所で、生徒たちは人として大きく成長していきます。

入寮資格 保護者が海外在住、または自宅から通学が1時間30分以上かかる場合。
(学校から3時間以内に保証人を設定する必要があります。)

京田辺市内の総合病院である京都田辺中央病院(医療法人社団石叢会)が、本校の協力病院として寮生の健康もサポートしています。



STUDENT AND TEACHER MESSAGES



男子寮長
前田ジャスパー さん
高校3年生

多彩な経歴、価値観を持った人々が集う同志社国際の寮では、日々、お互いを受け入れながら生活しています。共同生活をする都合上、殊の外時間や規律に束縛されますが、我々は個人単位での共生の為の強制と矯正を行いません。不便があれば自分達で改善します。不平があれば自分達で払拭します。そうして寮生全員にとって住みよい環境づくりをめざしています。



女子寮長
馬岡 充佳 さん
高校3年生

女子寮では、先輩と後輩が共に同じ部屋で生活するのが大きな特徴です。はじめは、慣れない環境に困惑していましたが、同じような境遇にいる仲間と支え合いながら過ごしてきた今では、一人ひとりが家族のような特別な存在です。また、親元から離れて過ごしたことで、自分と見つめ合う時間が増え、家族の大切さも感じる事ができたと思います。高校生という青春真っ只中の時期に、一生に一度あるかないかの寮生活を体験できるのは本当に貴重な経験になると思います！

「違いという共通点からの出発」、本校の寮生活をこれほどの確に表す言葉はありません。文化も習慣も全く異なる帰国生徒達と、人数は少ないですが国内一般生徒達が、寝食をともにし、意見を交わし、時にぶつかり時に協力し合いながら、自己を確立していく場所、それが本校の寮です。寮での経験を通して、一生の友人を見つけてください。

生徒指導・寮務センター主任 理科担当 二股 一郎 先生

寮生の一日

寮生は寮の規則に基づいて日々の生活を送ります。

学校説明会

Information Session

同志社国際ではじまる新しい毎日に興味をもっている皆さん。

ぜひ、学校説明会やオープンスクールであなたの疑問や、感じることを教えてください。

私たちはいつでもあなたの想いと出会えることを楽しみにお待ちしております。

▼ 本校で開催する説明会

国内(本校)で開催する学校説明会は、同志社国際中学校・高等学校の教育環境を直接ご覧いただける機会です。

オープンスクール	学校・入試説明会	
	帰国生徒対象	帰国生徒・国内一般生徒対象
6.5 Sat	7.24 Sat	8.7 Sat
	10.9 Sat	11.6 Sat

🌐 海外説明会 (2019年度実績・2020、2021年度は中止)

来校が難しい海外在住の方のために、北米、アジア、ヨーロッパの各都市でも説明会を開催しています。本年度もオンラインでの個別相談を予定しています。

ヨーロッパ	アジア	北米
■ フランクフルト	■ ペナン	■ コロンバス
■ ミュンヘン	■ ニューデリー	■ シカゴ
■ デュッセルドルフ	■ シラチャ	■ ニューヨーク
■ ハンブルク	■ クアラルンプール	■ ワシントン
■ アムステルダム	■ バンコク	■ デトロイト
■ ロンドン	■ マニラ	■ トーランス
		■ アトランタ
		■ プリンストン
		■ ニュージャージー
		■ 香港
		■ 台北
		■ 上海
		■ シンガポール
		■ ジャカルタ
		■ バンコク

>> その他、国内(校外)の様々な説明会(オンラインを含む)に参加致します。詳しくはHPをご覧ください。

→ <http://www.intnl.doshisha.ac.jp>

学校見学・入試相談
お問い合わせ

帰国生徒の学校見学や入試・学校生活についての相談を随時受け付けております。
【email】center@intnl.doshisha.ac.jp 【tel】0774-65-8911(代)

校長メッセージ

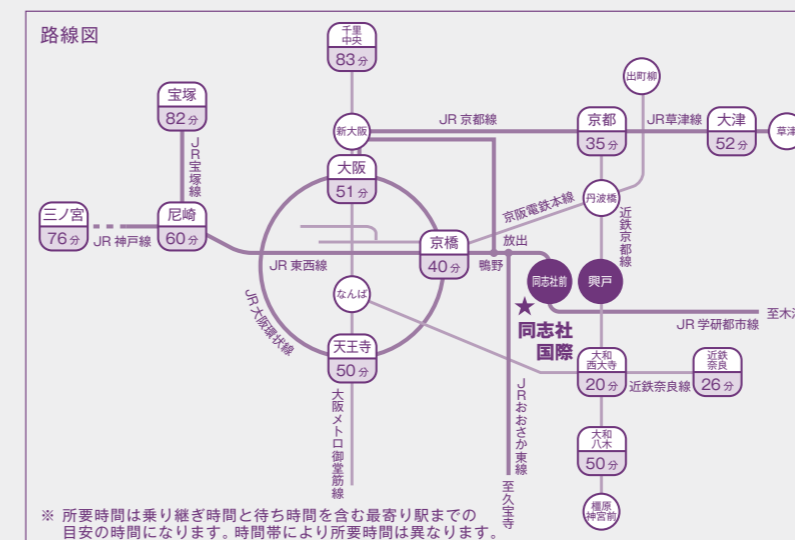
Message from the Principal



一人ひとりが異なる存在であること。誰もが異なった文化で成長し、自分自身を作り上げてきたこと。そして一人ひとりかけがえのない存在であること。この当たり前のことを確認し続けることで、私たちの学校は成り立っています。ここでは、お互いの存在を尊敬をもって認め、日々自分の価値観を新しいものに更新していくことが求められます。「真理」を語る言葉に耳を傾け、借り物の国際性ではなく本物の多様性を受け入れたとき、人はほんとうの自立と、何ものからも束縛されない自由とを手に入れることができるでしょう。今あなたが手にしているのは、新しい自分を発見することができる、不思議な世界への招待状です。

同志社国際中学校・高等学校
校長 戸田 光宣

Access



帰国児童が海外で習得した英語力を維持、伸長するための小学生対象のプログラムです。本校施設を利用し、本校の教育理念と教育システムを活用してすべての授業が英語で実施されています。

<https://www.dive.intnl.doshisha.ac.jp>

同志社国際中学校・高等学校の公式アプリケーション

最新のお知らせ
入試を含めた最新情報を、アプリのプッシュ通知機能で随時配信していきます。

学校紹介ムービー
アプリのメニュー画面から学校紹介動画をご覧いただけます。

学校説明会・入試相談会
本校および国内・海外各都市の説明会・相談会情報をご確認いただけます。

デジタルブック
お手元に学校案内がなくても、web上でご覧いただけます。

バーチャルキャンパスツアー
360°のパノラマイメージで学校の雰囲気を感じることができます。

入試に関するお問い合わせ
メール・電話のお問い合わせ窓口がお手元に。

※周囲の環境や通信状況によってプッシュ通知が受信できない場合がありますが「最新のお知らせ」をタップしていただく、履歴を確認していただくことができます。
※Androidの端末の性能によって、動作が不安定、または動作が不可能な場合があります。

「App Store」「Google Play Store」からアプリをダウンロードしてください。

無料 ▶ 🔍

下のリンクからダウンロードしていただけます。



「App Store」から
https://appsto.re/jp/Ou_7.i



「Google Play Store」から
<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.ac.doshisha&hl=ja>